

令和3年度 横浜市たまプラーザ地域ケアプラザPDCAシート\_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

区内の65歳以上の高齢者人口は増加傾向にあり、75歳以上の後期高齢者は2010年比の2030年増加率が横浜市18区中青葉区が1位と予想されており、当地区の高齢者人口は今後増加していくことが確実といえます。当ケアプラザの担当地区(山内・美しが丘)においても、高齢者人口が6,000人を超え、介護予防に関する意識が高く、健康体操やウォーキングへのニーズや参加率が高くなっています。地域包括支援センターに寄せられる相談内容をもても、介護・医療問題が年々増加し深刻化してきています。特に駅開通時から長年お住まいの方の高齢化が一気に進んでおります。また、日常生活の中で、高齢者虐待、緊急対応、精神疾患、多問題家族等に関して無縁ではありません。当ケアプラザでは、昨年から続くコロナ禍で、特に高齢者のフレイルが深刻化しています。介護予防の啓発・強化に取り組み、子育て世帯に向けても、多種多様な事業や交流の場を提供しながら、地域住民が健やかに生活を送れるよう支援していきます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	— 具体的な取組内容 —
■	<input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の包括カンファレンスⅡに加え、適宜、事業企画や意見交換、情報共有を行う。</li> <li>・個別ケースの検討に際しては、必要に応じて障がい担当職員や生活支援課職員等にも参加してもらうことで随時部署間で横断的な支援が実施できる体制を成熟させる。</li> <li>・セーフティネット会議等の会合には実務担当者が出席する。</li> </ul>
<input type="checkbox"/>	■	<p>健康促進・介護予防の必要性について理解を深めるための活動を継続して実施する。年間テーマを「ポジティブエイジング」として介護予防普及強化事業への取り組み、自主事業の中で多様なメニューを提供していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域性、状況に合わせ、新しい生活様式に合わせて内容を工夫して開催する。介護予防講座では、栄養、口腔機能、難聴、健康ミニ講話、ハマトレの推進に加え、体力測定やコミュニティーカレッジの開催など多様なメニューを提供する。</li> </ul>
■	<input type="checkbox"/>	<p>昨年は美しが丘地区で地域ケア会議を実施したが、今年度は山内地区を対象とした地域ケア会議を開催する。会議には、関係機関・団体に参加を打診する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山内地区民児協に5職種交代で出席し、個別ニーズや地域課題の把握、連携強化を図る。個別相談の地域・相談種別等の分析をし、地域課題を把握する。</li> </ul>
■	<input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担い手不足の団体に対して運営自体の見直し提案を行い、新規のボランティア参加がしやすい支援を行う。</li> <li>・ボランティア募集のチラシやブログで周知する。</li> <li>・ボランティア講座を開催する。</li> </ul>
■	<input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て版地域ケア会議(web)を開催する。</li> <li>・子育て活動マップを作る準備をする。</li> <li>・「スマイル♡ファミリー」を定期開催する。</li> </ul>

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

今年度も昨年度に引き続き感染症対策を余儀なくされ、すべての項目について、当初の計画通りに事業などが運営できなかった側面があったが、コロナ禍でも実施できる工夫を行い展開を図っていった。新たな取り組みも生まれ、次年度へのつながりも見えてきた。

まず、工夫を凝らして行ったこととして、介護予防普及強化事業では、4月に「体力測定」イベントを開催。民間企業や福祉用具事業者等に協力を得ながら、感染症対策として定員時間制で多くの方にご参加いただいた。12月にはWEB配信型ハマトレ講座を区内全地域ケアプラザが協働して開催。特に当地域ケアプラザ会場では、参加者が定員に達し盛況であった。

介護予防普及強化事業の実施においては、栄養改善・口腔機能向上・認知症予防・社会参加等の内容で各種多様な講座を実施して、参加者同士の交流機会を提供して取り組んだ。

子育て支援事業については、計画通り、当地区近隣の保育園とのネットワーク会議を実施。当地域ケアプラザがホスト役となり、公立私立合わせて約20の保育園に参加していただき、年3回オンライン会議開催した。各園の感染症対策や行事等の情報共有を行った。

当初は予定になかったが、近隣の新しくできたマンション内に、地域住民も利用できるカフェや保育所、学童施設、コワーキングスペースなどを備えた複合利便施設ができ、そこで「まちの活動紹介プロジェクト」に当ケアプラザも2021年7月から参加して、地域ケアプラザの活動紹介、地域情報の提供や生活相談、介護予防ミニ講座等を実施してきた。

当地区における「地域ケア会議」や新規の「ボランティア講座」は十分に開催できなかったが、地区支援や既存のボランティアへの活動支援は継続して行っているため、次年度に向けての展望を図っていききたい。

## □ 区からのコメント

・相談内容が多様化されたのは、出張ミニ講座でケアプラザの紹介をしたり、商業施設に広報誌を配架したり、子育て関連の広報誌を作成するなど、さまざまな方法で積極的にケアプラザの周知を図った効果だと思います。今後、相談内容の分析をして、地区アセスメントの材料にもらえることを期待します。

・生活困窮や障害関連の相談が増え、ケース支援する中で、関係機関との連携を強化していただけたことが良かったです。引き続き、各機関の役割をふまえながら連携をとっていただきたいと思います。

・コロナ禍において、高齢者のフレイルやうつが進んでしまう中、昨年度に引き続き、気軽に取り組める介護予防事業(スタンプカード)を展開していただきました。閉じこもり予防・フレイル予防・安否確認・社会参加・つながり、多世代交流、ケアプラザの周知等、複数の目的が絡み、大変有効的な取組となったと思われます。効果的な取組であるため、他でも導入した地域があり、区域で展開されています。

・担い手不足の団体に対して話し合いの場を設けられたことは、コロナで活動が休止している中でこそその良い取組だと思います。同時に手伝いの希望者を募るなど、タイムリーに運営支援をされているので、グループの安心感につながっていると思います。

# 令和3年度横浜市たまプラーザ地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

## 1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<p>○介護保険サービスの相談や利用を希望する本人、家族に対して、介護サービス事業者ガイドブックを用いて複数の事業所を提示します。</p> <p>○居宅介護支援事業所や介護保険サービス事業所等を仲介・調整するに際し、本人、家族に可能な限り、各事業所の特徴や内容、所在地を伝えた上で、本人、家族に選定していただきます。</p> <p>本人、家族の意向を尊重して、特定の事業所に偏らないように職員間で情報を共有し、ケースの依頼に際して公正・中立性を確保します。</p> <p>○ケアプラザの貸館についても施設利用マニュアルを守り、透明性のある施設管理を行います。貸館利用希望が競合した場合、抽選により当落を明確にして、公正中立を確保します。</p>	<p>○事故防止については、様々な状況を想定した対応を備えておきます。職員で構成した『安全管理委員会』において、[防火・防災対策][医療・感染症対策][車両整備][事故防止・インシデント対策][設備点検]の部会に分かれて、定期的な会議や必要に応じた点検作業を実施していきます。</p> <p>○個人情報保護については、「個人情報保護に関する規程」を定め、職員に遵守することを義務付けます。年度初めに個人情報保護研修を必ず実施し、個人情報の取り扱い方や自主点検を行い、漏えい事故防止に努めます。FAXでの個人情報を含む書類の送信は原則として行いません。やむを得ない場合は個人情報をマスキングした上で、ダブルチェック体制をとって行き、誤送信のないようにします。個人情報書類の受け渡しで、郵送手段を取る場合も、誤送付のないようダブルチェック体制をもって取り組んでいきます。</p>
実績	<p>区民がケアプラザに相談される際、介護保険サービスの利用や行政サービスの情報を収集されるときには、サービスの隔たりが生じないよう、また、偏った事業所の利益誘導にならないよう、複数の事業者を提示し、対象者が選択できるようにご案内しました。</p> <p>コロナ禍で貸部屋利用団体の活動が活発でなかった1年間だったため、複数の団体による利用希望日時の重複はみられませんでした。特定の活動団体が有利に利用することのないよう、公平中立な貸館運営を行いました。</p>	<p>毎月定例の職員会議で、全職員で構成した『安全管理委員会』にて、各部会で検討協議した内容を報告してインシデント事案を職員全員で共有しました。今年度は大きな事故を起こすことがなく、安全管理の意識が向上しました。個人情報の漏えい事故も起こすことなく、ヒューマンエラーを未然に防ぐ仕組み(誤送付誤送信がないようダブルチェックを行う等)が機能しました。</p>

## 2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センター職員、介護予防プランナーが、ご利用者に寄り添い、ご利用者が望む在宅生活を送れるよう、自立に向けた介護予防ケアマネジメントが行えるように努めます。</li> <li>・担当地域の要支援の介護認定を受けている方が増えており、居宅介護支援事業所への委託を推進していきます。</li> <li>・業務委託している居宅介護支援事業所のケアマネジャーが、ご利用者の自立に向けた介護予防支援・ケアマネジメント業務が行えるように、相談支援に努めます。</li> <li>・介護予防ケアマネジメントの手法について研修を行い、プラン作成担当者の個々のスキルアップに努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者・ご家族のニーズに思いやりをもって対応し、安心と信頼館を得られるよう心がけ、ご利用者様が望む在宅生活を送れるようケアマネジメントに努めます。</li> <li>・併設する地域包括支援センターと連携して、地域課題を含め対応困難な事例に取り組んでいきます。</li> <li>・他の居宅介護支援事業所と連携し、ケアマネジメントの手法について、医療・保健・介護等を包括的に捉えた研修を行い、介護支援専門員個々のスキルアップに努めます。</li> <li>・特定事業所加算を取得し、上限担当件数を維持して、事業収入の安定に努めます。</li> </ul>
利用料金・実費負担		
職員体制	看護師1名 ケアマネジャー2名 社会福祉士2名 計5名(管理者1名含)	ケアマネジャー 計3名(常勤兼任1名、常勤専従2名)

契約者数	201名	120名
------	------	------

### 3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標			
実施体制	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金・実費負担			
職員体制			
契約者数等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和3年度「横浜市たまプラーザ地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	23,272,130		23,272,130	23,272,130	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	100,000		100,000	58,900	41,100	
雑入	110,000	0	110,000	54,286	55,714	
印刷代	50,000		50,000		50,000	
自動販売機手数料	60,000		60,000	54,286	5,714	
その他			0		0	
その他	△ 4,784,000		△ 4,784,000	△ 4,784,000	0	
収入合計	18,698,130	0	18,698,130	18,601,316	96,814	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	8,527,000	0	8,527,000	10,246,241	△ 1,719,241	
本俸	6,036,000		6,036,000	7,235,944	△ 1,199,944	
社会保険料	511,000		511,000	678,481	△ 167,481	
手当計	1,855,000		1,855,000	2,133,466	△ 278,466	
健康診断費	48,000		48,000	29,150	18,850	
勤労者福祉共済掛金	25,000		25,000	32,250	△ 7,250	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	52,000		52,000	76,950	△ 24,950	
その他			0	60,000	△ 60,000	
事務費	1,432,000	0	1,432,000	1,127,297	304,703	
旅費	80,000		80,000	18,330	61,670	
消耗品費	150,000		150,000	158,239	△ 8,239	
会議旅費			0	0	0	
印刷製本費	90,000		90,000	188,505	△ 98,505	
通信費	300,000		300,000	352,550	△ 52,550	
使用料及び賃借料	637,000	0	637,000	203,228	433,772	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	17,000		17,000	16,685	315	
その他	620,000		620,000	186,543	433,457	
備品購入費			0	0	0	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	85,000		85,000	176,454	△ 91,454	
職員等研修費	10,000		10,000	16,796	△ 6,796	
振込手数料	10,000		10,000	13,195	△ 3,195	
リース料			0	0	0	
手数料			0	0	0	
地域協力費	70,000		70,000	0	70,000	
その他			0	0	0	
事業費	342,000	0	342,000	219,215	122,785	
運営協議会経費	42,000		42,000	23,891	18,109	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	300,000		300,000	195,324	104,676	
その他			0	0	0	
管理費	4,590,000	0	4,590,000	4,792,632	△ 202,632	
光熱水費	864,000		864,000	1,033,922	△ 169,922	
清掃費	1,210,000		1,210,000	1,209,648	352	
機械整備費	115,000		115,000	114,708	292	
設備保全費	1,801,000	0	1,801,000	1,765,113	35,887	
空調衛生設備保守	1,700,000		1,700,000	1,668,480	31,520	
消防設備保守	71,000		71,000	70,563	437	
電気設備保守			0	0	0	
害虫駆除清掃保守			0	0	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	30,000		30,000	26,070	3,930	
共益費			0	0	0	
その他	600,000		600,000	669,241	△ 69,241	維持管理以外10万円以上
修繕費	474,000		474,000	0	474,000	予算：指定額
公租公課	860,000	0	860,000	0	860,000	
事業所税			0	0	0	
消費税	860,000		860,000	0	860,000	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
支出合計	16,225,000	0	16,225,000	16,385,385	△ 160,385	
差引	2,473,130	0	2,473,130	2,215,931	257,199	

自主事業費 収入	100,000	0	100,000	58,900	41,100	
自主事業費 支出	300,000	0	300,000	195,324	104,676	
自主事業 収支	△ 200,000	0	△ 200,000	△ 136,424	△ 63,576	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	60,000	0	60,000	54,286	5,714	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	17,000	0	17,000	16,685	315	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	43,000	0	43,000	37,601	5,399	

※各々項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和3年度「横浜市たまプラザ地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	26,476,000		26,476,000	26,476,008	△ 8	横浜市より
指定管理料【介護予防】	110,000		110,000	102,000	8,000	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,795,000		5,795,000	5,795,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0	37,300	△ 37,300	
雑入	0	0	0	14,430	△ 14,430	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	14,430	△ 14,430	
その他			0	0	0	
その他	2,035,000		2,035,000	0	2,035,000	
収入合計	34,416,000	0	34,416,000	32,424,738	1,991,262	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	30,642,000	0	30,642,000	30,338,750	303,250	
本俸	16,989,000		16,989,000	16,526,531	462,469	
社会保険料	3,595,000		3,595,000	3,901,901	△ 306,901	
手当計	9,569,000		9,569,000	9,346,430	222,570	
健康診断費	51,000		51,000	50,138	862	
勤労者福祉共済掛金	33,000		33,000	31,750	1,250	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	405,000		405,000	432,000	△ 27,000	
その他			0	50,000	△ 50,000	
事務費	1,001,000	0	1,001,000	1,310,367	△ 309,367	
旅費	8,000		8,000	17,139	△ 9,139	
消耗品費	150,000		150,000	220,913	△ 70,913	
会議ठीい費			0	0	0	
印刷製本費	110,000		110,000	212,414	△ 102,414	
通信費	490,000		490,000	576,900	△ 86,900	
使用料及び賃借料	195,000	0	195,000	200,661	△ 5,661	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	5,000		5,000	4,435	565	
その他	190,000		190,000	196,226	△ 6,226	
備品購入費			0	0	0	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	22,000		22,000	46,906	△ 24,906	
職員等研修費	10,000		10,000	12,232	△ 2,232	
振込手数料	16,000		16,000	23,202	△ 7,202	
リース料			0	0	0	
手数料			0	0	0	
地域協力費			0	0	0	
その他			0	0	0	
事業費	1,147,000	0	1,147,000	279,992	867,008	
協力医	630,000		630,000	105,000	525,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	100,000		100,000	10,300	89,700	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	102,000		102,000	102,000	0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	315,000		315,000	62,692	252,308	予算：指定額
その他			0	0	0	
管理費	1,060,000	0	1,060,000	1,273,990	△ 213,990	
光熱水費	230,000		230,000	274,840	△ 44,840	
清掃費	330,000		330,000	321,552	8,448	
機械警備費	30,000		30,000	30,492	△ 492	
設備保全費	470,000	0	470,000	469,207	793	
空調衛生設備保守	444,000		444,000	443,520	480	
消防設備保守	19,000		19,000	18,757	243	
電気設備保守			0	0	0	
害虫駆除清掃保守			0	0	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	7,000		7,000	6,930	70	
共益費			0	0	0	
その他			0	177,899	△ 177,899	維持管理以外10万円以上
修繕費	126,000		126,000	0	126,000	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
支出合計	33,976,000	0	33,976,000	33,203,099	772,901	
差引	440,000	0	440,000	△ 778,361	1,218,361	

自主事業費 収入	0	0	0	37,300	△ 37,300	
自主事業費 支出	517,000	0	517,000	174,992	342,008	
自主事業 収支	△ 517,000	0	△ 517,000	△ 137,692	△ 379,308	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	14,430	△ 14,430	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	5,000	0	5,000	4,435	565	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 5,000	0	△ 5,000	9,995	△ 14,995	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和3年度 横浜市たまプラーザ地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市たまプラーザ地域ケアプラザ

令和3年4月1日～ 令和4年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	4,700,000	4,122,235	577,765	5,500,000	6,749,546	-1,249,546	22,000,000	23,003,237	-1,003,237			0			0
	その他	0	0	0	0	45,733	-45,733	270,000	84,154	185,846	0	0	0	0	0	0
	事業・負担金収入			0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0		45,733	-45,733	270,000	84,154	185,846			0			0
	<b>収入合計(A)</b>	4,700,000	4,122,235	577,765	5,500,000	6,795,279	-1,295,279	22,270,000	23,087,391	-817,391	0	0	0	0	0	0
支出	人件費			0			0	20,600,000	23,301,086	-2,701,086			0			0
	事務費			0			0	1,735,000	1,844,619	-109,619			0			0
	事業費			0			0	300,000	318,681	-18,681			0			0
	管理費			0			0		0	0			0			0
	その他	2,700,000	2,598,492	101,508	3,150,000	4,140,038	-990,038	380,000	358,280	21,720	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料	2,700,000	2,598,492	101,508	3,150,000	4,140,038	-990,038			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0	380,000	358,280	21,720			0			0
<b>支出合計(B)</b>	2,700,000	2,598,492	101,508	3,150,000	4,140,038	-990,038	23,015,000	25,822,666	-2,807,666	0	0	0	0	0	0	
<b>収支 (A) - (B)</b>	<b>2,000,000</b>	<b>1,523,743</b>	<b>476,257</b>	<b>2,350,000</b>	<b>2,655,241</b>	<b>-305,241</b>	<b>-745,000</b>	<b>-2,735,275</b>	<b>1,990,275</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和3年度 自主事業計画書・報告書

<p>■ 事業</p> <p>1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業</p> <p>3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3）</p> <p>6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）</p>	<p>■ 事業の性質</p> <p>1：優先的に取り組みが求められる事業</p> <p>2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業</p>	<p>■ 主な対象者、従たる対象者</p> <p>1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児</p> <p>4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者</p> <p>7：その他</p>
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	介護者家族の集い	平成30年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護者家族を対象に、同じような介護の悩みや不安を抱えている人同士のピアカウンセリングや、日々の介護で役に立つ情報共有や交換、一時介護を離れて心身の休息(レスパイトケア)を目的として開催する。	7:その他		ミニ講演や茶話会を中心に開催。 ・会場 たまプラーザ地域ケアプラザ 美しが丘地域ケアプラザ ・年5回開催 ・美しが丘地域ケアプラザ共催	4	25
2	わたしノート講座	平成30年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	第7期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の中に戦略として「本人による自己決定支援、エンディングノート等の作成・普及等」が位置付けられている。それを受けて「わたしノート」を手元に置いて終わりにするのではなく、実際に記入する場を設けて、これまでの人生の振り返り、今後どのように生活をしていくかを考えるきっかけづくりを講座やサロンを通じて実施する。	1:高齢者		第7期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の中に戦略として「本人による自己決定支援、エンディングノート等の作成・普及等」が位置付けられている。それを受けて「わたしノート」を手元に置いて終わりにするのではなく、実際に記入する場を設けて、これまでの人生の振り返り、今後どのように生活をしていくかを考えるきっかけづくりを講座やサロンを通じて実施する。	3	34
3	スマイル♡ファミリー	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	「おやおそび場」に代わる子育て支援事業として開催する。子どもを安全な環境で遊ばせながら、親子でのふれあいを主眼に、地域での交流、仲間作り、居場所作り、育児不安や孤立や疑問の解消を目指す。	4:子ども・青少年		・午前2時間、午後2時間の事前申込なしによる事業。(祝祭日も通常開催) ・保護者はマスク必須。検温の上、手指消毒を済ませて参加。定員を概ね10組。利用は1週間1度とする。(簡易な規約を作成し感染症対策と併記) ・入室状況、「あんころもち」などイベントについては随時Twitterで発信する。 ・保護者は父母、祖父母など。兄弟児も含めて事前に定員を考慮する。	166	2,691
4	どうようスマイル	令和3年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	ケアプラザで安心して親子で楽しく活動したり、情報交換など親同士の交流できる居場所とする。地域と繋がり、他者との交流のきっかけを作るための場の提供。就労していても、地域で仲間作りをしていただくことを目的とする。	4:子ども・青少年		親子でふれあい遊びをしたり、季節のリトミックや工作などで楽しむ。 親子で遊ぶことで、家族で交流を図る。毎月1会原則的に第一土曜日実施。	8	136
5	おはなしごっこたまプラー	平成25年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	横浜市及び青葉区の読書推進の取り組み、及び、事業計画に基づく文化的事業。1歳～3歳のこどもと親を対象とし、親子のスキップの機会を作り、地域での居場所づくりと交流・仲間づくりを目指す。また、わらべ歌などの伝承を知り、絵本を学びながら、地域の親が読み聞かせ活動を行う自動グループ立ち上げを目指し、次世代の読み手ボランティア育成を行う。	4:子ども・青少年		NPO語り手たちの会「おはなしごっこ」の活動者による季節にちなんだ絵本の読み聞かせ・手遊び・うた等のお話会と絵本の紹介を行う。講座の前夜で親子で自由に絵本を読む機会も設け、絵本の楽しさを親子で体感する。また、参加者の親は、読み聞かせのスキルを学ぶ。また、読み聞かせの担い手を発掘・育成しながら、後期は育成中の読み手ボランティアの発表の場ともすることも検討している。	6	95
6	おりがみサロン	平成29年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	季節のお花を折り紙で作る。音楽や体操を苦手とする方の外出機会と居場所作りや交流を図る。作品を作り上げることで相互に刺激になり楽しみになり、励みにもなる。認知症予防カフェ「プラぶらっとカフェ」実施の際は、壁面を飾っていただくことで華やか。	7:その他		季節のお花を折り紙で作ることを目的としたサロンを開催。 折り紙ボランティアさんと折る作品についてご提案いただき、ご相談し、折り図や折り紙はCPで用意し、参加者が読み解き、お互いに教え合い、協力しての形は変えない予定ではあるが、ソーシャルディスタンスを守れるよう注意して行う。 途中、1時間経過した頃に「1分体操」を取り入れ、水分補給とエコノミー症候群予防を行う。	10	150
7	大人のぬりえ	平成30年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	講師不要で、経験も技術も不要、気軽に参加でき、脳への刺激効果でリフレッシュや認知症予防を期待。音楽も運動も興味のない方への集いの場、居場所作り。互いにぬり絵の出来栄を見て、刺激し合うなど、交流も生まれる。	7:その他		登録団体Ⅱ「あおばHEYアート倶楽部」協力の下、ぬり絵をする。各自好きな下絵を選び、ぬり絵をする。出来上がったものは額に入れて鑑賞し合うなど交流しながら、思い思いに、ゆったりとした活動を目指す。	8	144
8	椅子に座って体操	平成30年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	運動を始めるきっかけを作り、運動習慣を作る「転倒予防」教室。 外に出るきっかけとしてケアプラザに定期的に足を運び、楽しく運動をしながら交流を深め、地域での仲間づくりを目的とする。	1:高齢者		講師の指導による約40分程度の短い時間内で、椅子に座ったまま、自宅でも一人でできるゆとりとした軽い体操を行いながら体幹を鍛え、正しい呼吸法を学び、姿勢を意識する。	8	117
9	発達凸凹のこどもの発達を考える会	平成25年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	発達のご心配なお子さんと暮らす保護者が、心配や不安になった時に相談できる場が身近にあることを周知する。自分の悩みを語ることで、孤立を防ぐ目的。発達にご心配なお子様に対して、保護者がどのように子どもと向き合っていけば良いのかなど様々な子育ての課題を学ぶ。	2:障害児・者		NPOあではで神奈川 理事長(篠山氏)による講演と質疑応答。3ヶ月に1度募集方式で実施。	3	9

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）			<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業		<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
10	ぶらぶらっとカフェ	平成26年度	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	自粛生活を経て、気力・体力共に低下している高齢者が「ケアプラザに集う」という外出機会の創設。また、懐かしい映像を見知った顔と一緒に楽しむことで、刺激もあり回想法としても効果を見込む。	1:高齢者		・定員制を設けるため、入替制で2回開催する。 ・お誕生月の方の紹介、大きな声を出さないバカカ体操 ・昭和のドラマや映画を30分ほど上映(複数回に分けての上映も検討) ・ゆったりハマトレ(体操にならない程度) ・多種の2ℓペットボトルを用意し、紙コップによるフリードリンク ・調理室も定員まで使用し、随時スタッフが使用することでホールの定員確保 ・向かい合わせを避け、横並びでの着席開催 ・100円の参加費で、フリードリンクとお土産のお菓子付とする(持ち帰り専用)	8	432
11	打楽器を作ってフィリアホールで演奏してみよう!	平成30年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	夏休みの小学生の居場所づくり。小学生の夏休みの課題に対応する内容の事業も含む。 あおばおまのひろばの協力の下、行方。近隣小学校などへ案内。	4:子ども・青少年		ワークショップにてタイコづくりを行い、作った太鼓を持参しフィリアホールにて演奏。	1	29
12	おもちゃのひろば	平成26年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	発達心配のあるお子さん・障がいのあるお子さんやその家族が安心して過ごせる場の提供。障がいのあるお子さんのだけでなく子育て当事者の育児疲れの緩和や悩み事の相談の場になるようPRしていく。	2:障害児・者		発達心配のあるお子さん・障がいのあるお子さんやその養育者。また子育て中に不安を感じている養育者の方に息抜きをしてもらう場にもしていく。	2	89
13	バルーンロケットを飛ばそう!	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	・地域の小学生の夏休み企画。 ・宇宙についての講義を聞き、ビニール製のバルーンロケットを作成し、どのようにしたら、遠くに飛ばせるかを考えながら試行錯誤することで、知的好奇心を伸ばす。 ・近隣の小学生親子にケアプラザを周知する機会とする。	4:子ども・青少年		宇宙のお話の講義とバルーンロケットづくり。年中から小学校5年まで親子で行った14組。	1	30
14	おやこでリズム	平成26年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	音楽に合わせて身体を動かし、ケアプラザで安心して親子で楽しく過ごすようにしてもらおう。閉じこもり予防、他者との交流のきっかけを作るための場の提供。	4:子ども・青少年		今年度は毎回募集とし、抽選制。定員6組を入替制で2回行い、1日に12組の参加を予定。	12	187
15	ぶらぶらっとサロン	令和3年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	緊急事態宣言下で飲食の伴う「ぶらぶらっとカフェ」休止を受けて「高齢者が集うば」を目的とした事業。自粛生活が長期化しており、気力・体力共に低下している高齢者の外出機会の創設。	1:高齢者		・定員制を設けるため、入替制で2回開催する。 ・お誕生月の方の紹介 ・名作の朗読 ・日本全国の名所を映像で巡る ・ゆったりハマトレ(体操にならない程度)	1	46
16	出張何でも相談所	令和3年度	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	ケアプラザ外で活動することにより未利用者への周知と「気軽に相談できる場所」の確立を目指す。 また相談所の機能と併せて地域で活動している団体の活動を紹介することによって、地域と団体をつなぐ役割を果たすことを目的とする。	7:その他	1.4	・毎月第4水曜日、13:00～15:00にたまプラーザドレッセンス内コミュニティーコアにて開催 ・ケアプラザ及び包括支援センターの役割の紹介 ・地域活動団体の紹介 ・ゆったりハマトレ ・健康チェックとなんでも相談	6	61
17	ペンシルロケットを飛ばそう!	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	小学生親子にケアプラザを周知する機会づくり ・今年度夏期7/31は開催し、参加者親子共到大変な反響があり今後も継続し、開催を要望が強く寄せられた開催。 ・夏期7/31は開催の折に、申込が多く、抽選に漏れた方も多かったことから、同様の開催を年度内に行う。	4:子ども・青少年		・地域の小学生の冬休み企画。 ・宇宙についての講義を聞き、ペンシルロケットを作成し、どのようにしたら、遠くに飛ばせるかを考えながら試行錯誤し、親子で考えながら実験することで、学ぶ面白さを実感し、知的好奇心を喚起させる。 ・近隣の小学生親子にケアプラザを周知する機会とする。	1	40
18	たまプラーバベーマッサージ	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て支援事業の強化 子育て期の親にリラックスして過ごしていただく時間とする。 閉じこもり予防・仲間づくり及び、居場所としてケアプラザ(スマイルファミリー)を気軽に利用していただくためのきっかけづくり	4:子ども・青少年		オイルを使用したベビーマッサージの講座(講師1名) 講座終了後、参加者が子育てで気になる事があれば、ブレイクタイムとしてお話をしていた。	1	15
19	出張ラフル@たまプラーザ	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	プレパパママが出産準備として地域の子育て拠点の周知。出産前の親と赤ちゃんのいるパパママとの交流を図る。ラフル利用を推進	4:子ども・青少年		プレパパママは赤ちゃんのお世話体験。赤ちゃん親子には遊びながら情報共有を図る	1	22

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1: 地域活動交流事業	2: 地域包括支援センター運営事業		1: 優先的に取り組みが求められる事業	2: 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		1: 高齢者	2: 障害児・者	3: 養育者及び乳幼児
3: 生活支援体制整備事業	4: 共催(1と2)	5: 共催(1と3)				4: 子ども・青少年	5: 地域	6: 事業者
6: 共催(2と3)	7: 共催(1と2と3)					7: その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
20	ぶらに移動図書館ノーボーダーDAY	令和3年度	5: 共催(1と3)	2: 発展させるねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>発達の遅れのあるお子さんをお持ちの保護者やその周りの支援者が、イライラしたり不安になった時に相談できる期間が身近にあることを周知する。</li> <li>本を介して、障がい者や発達に心配のある親子と繋がるきっかけとし、また家庭内の孤立を防ぐ目的。</li> <li>発達の遅れのある子どもたちや障がい者やサポートしている大人にとっての、地域の居場所を作る。</li> <li>1年を通し、実施することでの「仲間づくり」「安心して集える場」が期待できる</li> </ul>	2: 障害児・者		<ul style="list-style-type: none"> <li>たまプラーザ駅徒歩2分図書館(ぶらに)共催</li> <li>本を50冊置き、ランダムに追加しつつ、落ち着いた本を読める場を作る。</li> <li>優しい音楽の時間を設け、ライアーの演奏などボランティアにしていきたい。</li> <li>参加者には多少騒いでも問題なく過ごせるようにする。</li> </ul>	1	17
21	親子で楽しむクリスマスコンサート	令和3年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の子育て世代に、気軽に安心してケアプラザで音楽を楽しんでいただく。</li> <li>コロナ禍が長く続き、家に閉じこもってストレスを抱えている親子に、地域内で音楽を楽しんでいただくことで、心のリフレッシュ効果や外出を促す。</li> <li>安全に安心して地域ケアプラザを利用して頂くきっかけとする。</li> </ul>	4: 子ども・青少年		<ul style="list-style-type: none"> <li>「おもてなし隊」(ボーカル・ヴァイオリン、ピアノをはじめとした、音大卒業生によるパフォーマンスグループ)による親子コンサート</li> <li>曲は30分程度+アンコールでMC込みで45分以内。</li> <li>①②と曲を変えてアレンジ。(パプリカ、にじ、夢をかなえてドラえもん、さんぽなど)</li> <li>子どもたちが喜ぶ手遊び唄やみんなのよく知っている曲を演奏。</li> <li>楽曲は短く2~3分程度のものをメドレーで繋いでいくことで、展開。</li> <li>当日は4人で演奏。楽器(ピアノ・カホン・バイオリン)。</li> <li>MCは短めに、テンポよく音楽を繋ぎ中身を濃くする。</li> <li>子どもと体を揺らしたりできる曲を。(①は赤ちゃんを膝に乗せて一緒に揺らすなど)</li> </ul>	2	65
22	アラフィフセミナー 老後の資金は大丈夫?	令和3年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女共同参画センター(アートフォーラムあざみ野)共催。現在就労している、または今後再就職や転職を考えるアラフィフ世代のためのセミナーとする。</li> <li>老後の資金はどのくらい実際に必要なのか? 漠然とした不安を抱える人は多い。充足した人生を送るために今からどのように過ごせば良いのかを、考える機会とする。</li> <li>40代50代に向けて地域包括支援センターとしてのたまプラーザ地域ケアプラザの周知の機会とする。</li> </ul>	5: 地域		<ul style="list-style-type: none"> <li>将来に向けて今から出来ることを、将来の生活資金や年金のイメージや家計のイメージなど具体的に今からライフ&amp;マネープランを考える講義。</li> </ul>	1	15
23	乳幼児救急法を学ぼう	令和3年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭内や地域で発生する事故に関する救護法を短期講習で学び、子育て世代が安心して生活することを目的に開催する。</li> <li>乳幼児の安全、減災を主眼とする。</li> <li>開催は土曜日に行い、両親の参加を取り込み、親子間の交流を促す。</li> </ul>	4: 子ども・青少年		<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活での危険・事故時の心肺蘇生法を子どものダミー人形を使って行う。</li> <li>AEDや誤飲を中心に応急処置できる知識とスキルを学ぶ。</li> </ul>	1	35
24	親子のおくすり講座	令和3年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>たまプラーザファーマシー薬局協力のもと地域連携として開催。</li> <li>子どもの健全な発育のために、服用する薬をどのように安全に効果的に使用するかを</li> <li>知る。</li> <li>参加者親子の相互の交流も図る。</li> </ul>	4: 子ども・青少年		<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの病気が体質改善のために使用する薬について学ぶ。</li> <li>子どもの健全な発育に薬に関する親の心配なことなど、質問相談に応じる。</li> <li>子どもが散剤を服用しやすくなるためのお薬団子を作る。</li> </ul>	1	6
25	二人目ママのトークサロン	令和3年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>美しが丘子育てエリア会議でテーマに上がり、ニーズの高い、二人目以降が生まれた後の育児について気軽に語り合う会。一人目と違い、公的な集まりがない中、育児の悩みを抱えがちなママ達への孤立防止。</li> </ul>	4: 子ども・青少年		<ul style="list-style-type: none"> <li>二人目、三人目が生まれた中での育児の工夫等話し合い、情報交換する場。美しが丘見守りの協力の下、「子育てひろば」内で行う。</li> </ul>	1	3

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）	<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
26	子どものおもちゃを作ってみよう	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達心配のあるお父さんをお持ちの親子でも楽しく遊べる場「あおばおもちゃのひろば」の周知として、たまプラーザ地域の親子のフリータイムとして開催する。</li> <li>・療育センターでも好評のこどものおもちゃを、子を遊ばせながら作るWSを実施することで、子育ての視点を変えた、関わり合いの変化を生み出す。</li> <li>・発達心配、障害のあるお父さんの家族が、コロナ下でも安心して相談できる場として、おもちゃをツールとして育児不安を和らげ、ストレス軽減を図る。</li> <li>・引きこもりがちの障がい児の家族が外にできるきっかけとなるよう、地域の既存の活動団体や活動されている方が関わるきっかけづくり。</li> <li>・地域に発達心配な親子の楽しく遊べる「おもちゃのひろば」の存在が周知されることで、安心して来館し、身近な場所で相談できることが期待される。</li> </ul>	4:子ども・青少年		<ul style="list-style-type: none"> <li>「あおばおもちゃのひろば」の出張による、発達心配のあるお父さん・障害のあるお父さんやそのご家族・集団が苦手なお父さんやご家族が安心して過ごせるよう、またふれあいあおばでの情報発信。</li> <li>・子を遊ばせながら、3回に分けてWSを実施。</li> <li>・密にならないよう、WSには事前予約制を設け、午前と午後に分けてそれぞれ開催。</li> <li>・「スマイル♡ファミリー」「ぶらに」参加者でも発達心配のあるお父さんもいるので、場の提供も図る。</li> </ul>	1	45
27	空力翼艇を飛ばそう！	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学生親子や40代50代の地域住民にケアプラザを周知する機会づくり</li> <li>・今年度夏休み7/31(土)バルーンロケットを飛ばそう 12/25(土)ペンシルロケットを飛ばそうと2回開催し、参加者親子共に大変な反響があり今後も継続し、開催を要望が強く寄せられての開催。</li> <li>・地元小学校にチラシ配布のために訪問したり、小学生親子にOPを利用していただくきっかけ作り。</li> </ul>	4:子ども・青少年		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の小学生の春休み企画。</li> <li>・宇宙についての講義を聞き、ペンシルロケットを作成し、どのようにしたら、遠くに飛ばせるかを考えながら試行錯誤し、親子で考えながら実験することで、学ぶ面白さを実感し、知的好奇心を喚起させる。</li> <li>・近隣の小学生親子にケアプラザを周知する機会とする。</li> </ul>	1	35
28	親子で楽しむおはなし会	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て中の母親と子どもの居場所づくりと交流・仲間づくり、親子のスキップの機会を作る。また、親子でのわらべうたや絵本との出会いを創出し、情緒を深める。</li> </ul>	4:子ども・青少年		<ul style="list-style-type: none"> <li>「スマイル♡ファミリー」にてボランティアとして活動していた「おはなしあんころもち」による絵本の読み聞かせを中心に、親子で触れ合うわらべ歌や絵本にちなんだ工作、パネルシアター、紙芝居等を取り入れたお話し会。</li> <li>・おはなし会の後はフリータイムとし、気軽に子育てや絵本のことなど相談したり、参加者親子と講師たちや参加者同士の交流する機会を設ける。</li> <li>・単発で回数を多く行い、いろいろな親子が参加できるようにする。</li> <li>・自宅でもわらべうたなど歌ったり紹介された絵本を借りたり買ったりできるように、レジュメなどをまとめて、各回配布し、ミニ講座を行う。</li> </ul>	1	15